

立教大学キリスト教教育研究所 (JICE) 主催

2022年2月26日(土)

14:00~16:30

オンライン開催

(Zoom ウェビナー・事前登録制)

2019年度よりはじまった立教大学キリスト教教育研究所 (JICE) が主催する「非正規滞在外国人の人権」シリーズ公開講演会を今年度も開催いたします。

第1回は入管収容施設の全体像と大村入国管理センターの実態を、第2回はコロナ禍における収容施設の状況を大村と牛久の事例から明らかにしてきました。

第3回となる今回は、2021年3月、名古屋入管に収容中だったスリランカ人女性ウィシュマさんが亡くなった事件から、入管収容施設の医療体制について整理します。

以前から入管収容施設の医療についてはさまざまな問題が指摘されてきました。しかしながら、当事者や支援者を含め多くの識者が改善を訴えてきたにもかかわらず、入管収容施設内での死亡事件が繰り返し起こっています。

今回は「全件収容主義」の問題点や収容施設における医療体制を整理することで、あらためてみなさんと一緒に非正規滞在外国人の人権について考えたいと思います。

児玉 晃一氏(マイルストーン総合法律事務所・弁護士)

2009年、マイルストーン総合法律事務所を開設。東京弁護士会外国人の権利に関する委員会委員(元委員長)、全国難民弁護団連絡会議世話人などを務める。

和田 浩明氏(毎日新聞社・記者)

1991年入社。デジタル報道センター所属。ウィシュマさんが名古屋入管収容施設内で死亡した事件の取材を続けている。

三浦 萌華(本研究所研究員)

本学社会学研究科博士課程前期課程修了。入管収容経験のある非正規滞在外国人のライフストーリー研究を行っている。

モデレーター: **三浦 萌華**(本研究所研究員)

入管収容施設の医療体制から 非正規滞在外国人の 人権を考える

要事前登録
申込フォーム



問い合わせ: 立教大学キリスト教教育研究所

jice@rikkyo.ac.jp, 03-3985-2661

*事前登録は、QRコードかURL (<http://s.rikkyo.ac.jp/2ad91a3>) から受け付けております。